

令和6年度「地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)」の実施報告について

地域連携推進機構 准教授 小島 肇

ちゅらプロは「岸本遺贈基金」の支援を受けて活動しています

今年度、採択された6チームがプロジェクトを実施しました。
本日は、3チームが出席し、各プロジェクトの成果の概要を紹介します。

令和6年度実施プロジェクト

チーム名	プロジェクト名
チーム学教	在留外国人家族と地域をつなぐ多文化防災キャンプ in 西原町
琉球大学琉球方言研究クラブ	金武町並里集落動植物方言辞典作成プロジェクト
Protect The Beach	美しいビーチを守るプロジェクト
琉大牛部	PCT(Poop cleaning tool)改良プロジェクト 「畜産業界で活躍するモーモーねえちゃんたちを救いたい」
いもじょーぐー	うちなーいも魅力発信プロジェクト
植物性コンクリート愛好会	コーヒー粕を未来の新素材に再資源化プロジェクト

「ちゅらプロ」とは、平成27年度から展開してきたCOC事業において開発してきたプログラムを継承・発展させたもので、琉大生が自ら「地域」に入り、地域の再生・活性化やそこでの課題の発見・解決等に取り組むことに対する「公募型の正課外プロジェクト」として支援をしているものです。このプロジェクトを通じて、学生が、地域に対する理解を深め、卒業後も地域の発展に大いに貢献できる人材となることを期待しています。

令和6年度は、5/7～5/31の期間で学内公募を行い、応募のあった11チームから、書面審査、プレゼン審査通過した6チームが採択され、プロジェクトを実施しました。

「ちゅらプロ」のホームページにも掲載していますので、ご参照下さい。

https://chiiki.skr.u-ryukyu.ac.jp/?page_id=3074

【参考】令和 6 年度「ちゅらプロ」実施スケジュール

- 公募説明会 : 令和 6 年 5 月 14 日、15 日、20 日
- 公募期間 : 5 月 7 日～ 5 月 31 日
- プレゼン審査会 : 6 月 17 日
- 採択決定 : 6 月末
- キックオフ説明会 : 7 月 1 日
- 事業実施期間 : 7 月 1 日～令和 7 年 3 月末日
- 中間報告会 : 12 月 2 日、12 日
- 成果報告会 : 令和 7 年 3 月 18 日、21 日

【参考】過年度の実施概要

○令和 5 年度(5 件採択)

- ・バリアフリーまーる(プロジェクト名:バリアフリーマップを発展させ隊プロジェクト in 久米島-ユニバーサルツーリズムを見据えた離島調査-)
- ・ヤギ部(プロジェクト名:超～うめえ～琉大産ヤギベーコンとヤギハムの製造プロジェクト)
- ・与那原もりあげ隊(プロジェクト名:地域をつなごう！～沖縄軽便鉄道～)
- ・琉大ゆいまーる(プロジェクト名:子供の未来を紡ぐ体験プロジェクト)
- ・Protect The Beach(プロジェクト名:美しいビーチを守るプロジェクト)
- ・うりずんスクール(プロジェクト名:うちなーんちゅと自然を繋ぐプロジェクト)

○令和 4 年度(3 件採択)

- ・いもゼミ美らイム(プロジェクト名:うちなーいも生産向上プロジェクト)
- ・グリーン JunJun's(プロジェクト名:服交換リユースイベント『Thanks To Clouthes』)
- ・島に大学ちくいぶさ(プロジェクト名:県外の離島(海外含む)の事例をもとに琉球諸島の離島に大学を設置・誘致するためのモデル案の提示ー実行可能性の評価ー)

○令和 3 年度(6 件採択)

- ・For The Okinawas(プロジェクト名:Quality of Tourism(QOT)プロジェクト)
- ・がんじゅ～ウイルス(プロジェクト名:文化と伝統を次世代に繋ぐ with コロナ)
- ・チームいなかむすめ(プロジェクト名:あつまれグローバル人材！ひらけ留学のトビラ！～留学生のためのウェブサイト制作～)
- ・やんばるっ子を育て隊(プロジェクト名:かるたで学ぼう！やんばるの自然)
- ・生物系有志の会(プロジェクト名:大度浜海岸ガイドブックを作ろう！)
- ・琉大まんぐろう部ハーブチーム(プロジェクト名:感染症予防ハーブ伝承知アーカイブプロジェクト)

美しいビーチを守るプロジェクト

Protect The Beach

<地域問題・目標>

沖縄の美しい砂浜は観光資源として重要であり、自然環境を保護する目的として、沖縄の砂浜にあるサンゴや砂（星砂など）などは許可なく持ち帰ってははいけなくなっています。しかし、このことは観光客のみでなく地元の人にもあまり知られていません。このプロジェクトでは砂浜の砂について知ってもらうことを目的としています。次世代を担う子供たちが知識だけでなく自然とのふれあいや探求の楽しさを体験しながら学び、その認識が広がっていくことを目標としています。



砂浜にある砂や生き物たち



<今までの活動>

2024年

- ・3回のイベントと保育園での出前授業



- ・冊子の製作



2025年

- ・2回のイベントと石垣島での活動（1回のイベントと3回の出前授業）



<今後の活動>

- ・3月18日 保育園での出前授業
- ・3月22日 学童での出前授業

うちなーいも魅力発信プロジェクト

チーム：いもじょーぐー 農学部 森 咲楽 江村 聡吾 大上 智裕

【プロジェクトの目的・背景】

沖縄県の甘藷栽培において、土産加工の原料となる紅芋「ちゅら恋紅」の栽培が約8割を占め、それに伴った病気の蔓延が問題となっている。また、農業従事者の高齢化、担い手不足などによる離農の増加も沖縄県における深刻な地域課題である。今回のプロジェクトでは、紅芋以外の甘藷を使った商品開発を行い、需要を高めることで、甘藷の生産量の向上や栽培品目の多様化に貢献できると考えた。特に本プロジェクトでは、琉球大学のフィールドで長年栽培されているシモン芋に注目し、地元企業の協力のもと、商品開発と甘藷の魅力の発信方法について検討した。

【活動内容】

- ① 商品開発 ラムネ
- ② 商品開発 チップス
- ③ シモン芋の広報活動



→琉大祭での様子



→シモン芋

【成果】

- ① ラムネについて

株式会社沖縄ウコン堂の協力のもとシモン芋のパウダーを使用したラムネの開発を行った（令和5年度琉球大学ブランド商品開発支援事業の中で規格外のシモン芋の粉末化を実施）。商品名は「琉大ラムネ」、琉球大学ブランド商品として琉大病院のマルシェクガニなどで販売される。

② チップスについて

やきいも繁多川堂の協力のもとシモン芋を用いたチップスの開発を行っている。琉大祭での販売も行った。規格外の小さなサイズの芋を使ってチップスを作ることができるためシモン芋に限らずに色々な芋を用いたチップスの商品化を検討中である。

③ 広報活動について

「琉大祭」や「んむさい」でパンフレットを配布してシモン芋について広報した。



→ラムネの試作品



→チップスの試作品



→広報活動で配布した
パンフレット